

令和5年11月28日

埼玉県知事・さいたま市長の意見交換会／結果概要

1 保育士の確保について

- 本県の保育士の有効求人倍率は全国平均よりも高い状況にある。また、今後、保育所等の職員配置基準の見直しなどが実施されると保育士の人材ニーズがますます高まることも想定される。
- 県では保育士給与の原資となる公定価格を適切な水準に設定するよう国に要望するとともに、要望が実現するまでの間、保育士奨学金返済支援事業など保育士に直接届く効果的な取組を実施している。
- 市では県の取組に加えて給与の上乗せ補助等の独自の取組を行い、総合的な保育士の確保施策として事業を推進している。
- 今後も県・市の事務レベルで定期的に情報共有を行うなど、一層の連携を深めながら、保育士確保に向けた施策を推進していく。

2 埼玉県思いやり駐車場制度の推進について

- 県では障害のある方などが優先的に利用する駐車区画の適正利用を推進するため、11月1日から「埼玉県思いやり駐車場制度」を開始した。
- 市は本制度に参加しているが、より多くの県民や商業施設、福祉・医療施設等の駐車場管理者に対する普及啓発など県・市で更なる連携協力を強化していく。

3 第75回全国植樹祭の機運醸成のためのPR活動について

- 昭和34年以来66年ぶり2回目となる「第75回全国植樹祭」が令和7年春に秩父ミュージックパークで開催されることから、県では機運醸成のため様々な広報やPR活動を展開している。
- 森林の多い山間部だけでなく、平野部や都市部においても広く機運を醸成するため、市で開催される多くの方が集まるイベントにおいて、県・市が連携してPR活動を実施していく。
- 市では同じ令和7年に大宮盆栽村が開村100周年を迎えることから、これも県・市が連携してPR活動を実施していく。

4 埼玉県救急医療情報システムの機能拡充について

- 救急需要の増大により救急活動時間が延伸傾向にあり、救急活動の迅速化・効率化が重要な課題となっている。
- 県では埼玉県救急医療情報システムの機能拡充を検討しているところであり、今後も県・市で連携しながら役割に応じた取組を進め、関係機関の意見を聴取しつつ、救急医療体制の強化に取り組んでいく。